

22 建企第 442 号
平成 22 年 11 月 15 日

(社)長崎県建設業協会会長
長崎県建設工業協同組合理事長
(社)長崎県港湾漁港建設業協会会長
(社)長崎県中小建設業協会会長
(社)長崎県工務店連合会会長
(社)長崎県造園建設業協会会長
(社)長崎県ほ装協会会長
(社)長崎県下水道建設業協会会長
(社)長崎県管工事協会会長
長崎県電気工事業工業組合理事長
(社)長崎県測量設計業協会会長様

長崎県土木部長



公共工事における事故防止について（お願い）

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、日頃からの本県の土木行政に対するご理解、ご協力につきましても御礼申し上げます。

今年度の発生しております事故の傾向としては、単純なミス（集中力の低下による注意、確認不足など）によるもので、夏場の猛暑時に多く発生しております。

これから、各工事現場においても繁忙期を迎え、慌ただしさが増すなかで、集中力を欠いた単純ミス発生の可能性が予想できます。場合によっては重大災害に繋がることから、工事現場の安全管理の徹底など、事故防止に向けたより一層の取り組みについて、団体傘下の各協会員へ適切なご指導をお願い致します。

(参考)

平成 21 年度、平成 22 年度 土木部関係事故等発生状況（件数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
平成 22 年度	1	0	1	6	2	5	1	-	-	-	-		16
平成 21 年度	0	3	2	3	2	3	2	2	4	2	4	0	27

※平成 22 年度は、10 月末の発生状況です。
事故概要は、別紙を参照ください。

担当課：長崎県土木部建設企画課
技術情報班 米田 三厨
095-894-3023

平成22年度 長崎県土木部関係事故等発生状況(H22.11.15現在)

番号	発生日	被災状況	事故概要	その他
1	4月26日	作業員 胸部腰部打撲 休業1日	被災者は、高架橋で壁高欄を構築するため、張出し足場の上で同僚1名と型枠設置作業を行っていた。移動のため安全帯を外して後ずさりした際、昇降用の開口部で足を踏み外し、3.5m下のつり足場まで転落した。	・開口部の養生なし。
2	6月5日	作業員 左手首骨折 休業30日	法面工天端部の水路作業において、ホッパー（約500kgモルタル含）を吊ったバックホウ（0.15m3）が旋回中にバランスを崩して転倒し、オペレーターが投げ出されて負傷した。	・用途外使用。 ・特別教育未実施。
3	7月8日	作業員 左足甲裂傷 休業75日	道路除草工の草刈作業中において、草刈機〔肩掛式〕の刃が道路法面（法長2m以下）の既設構造物に接触し刃が外れ、被災者の左足甲に直接飛んできて負傷した。	・機械の整備点検不足。
4	7月13日	作業員 左手指骨折 休業1日	ディスクサンダーによるケレン作業時に、保護カバーの固定ボルトがゆるみ、飛び出した保護カバーもしくは固定ボルトに左手が当たり、負傷した。	・機械の整備点検不足。
5	7月16日	学校電話線 電話配線火災 電話一時不通	解体作業で配管をガス切断していたところ、火の粉が配管内を伝わり内部の電話線が燃え、高校全体の電話が一時不通となった。	・電話配管敷設経路未確認。
6	7月22日	作業員 右目キズ 休業1日	補強土壁施工で、壁面材設置中、高さ確認をしながら横に移動していた時に、壁面材に立てかけた腹起し棒（φ16mm丸鋼）に目が当たり、白目部分に傷がついた。	・防護などの不足。
7	7月23日	作業員 左踵骨折 休業26日	橋梁足場で作業中に、不注意で足場から約3m転落。原因としては、安全帯をつけていなかったことが考えられる。	・作業員への指導不足。
8	7月30日	第3者車両 サイドミラー破損	橋梁の舗装厚確認のため、橋梁路肩部のはつり試験を実施していた。交通誘導員を施工箇所付近に一名配置し、規制看板を道路路肩に三基設置し、安全管理を行っていたところ、一基目の規制看板と通行車両の左ミラーが接触し、相手のミラーが破損、落下した。	・安全配慮不足。
9	8月9日	第3者車両 ボンネット バンパー	残土を搬出（4t車）した帰路において、前方よりきた2t車との離合ができなかったため、バックしたところ、後方確認不注意により被災車両と接触した。	・運転時、後方確認不足。
10	8月19日	電力引込柱 公園施設に影響 本復旧まで12日	ブームを上げたままの4tユニック車を運転し、電線に引っ掛けて、電力引込柱を破損した。	・注意点検不足。 ・説明指導不足。
11	9月2日	第3者物損 ビニルハウス支柱	重機を回送車から降ろす際、回送車のアウトリガーを出した後、重機を移動させようとアームを上げたところ、回送車の荷台上ですべり、そのまま回送車よりすべり落ち転倒した。	・機械の整備点検不足。 ・斜路での荷下ろし。
12	9月10日	埋設ケーブル 交差点信号1時間停止	電線共同溝ハンドホルの接地棒貫入中、九州電力埋設ケーブルを破損させた。周辺建物は一瞬停電したのみだが、松山町交差点の信号機が約1時間作動を停止した。警察により、交通処理をしてもらい、交通事故等はなし。	・埋設物確認不足。 ・要管理者立ち会い。
13	9月20日	作業員 意識不明 入院中	橋台の背面の埋め戻し作業中、0.05m3バックホウにて敷き均しを行っていた。敷き均し作業時はまだ地盤の不陸がある状態であったため、バックホウが後退した際にバランスを崩し、切梁と操作レバーに胸を挟まれた。	・安全配慮不足。
14	9月23日	信号機 へこみ	資材を大型車から5tユニック車へ積み替えて現場へ向かう際に、交差点で右折しようとしたところ、荷台から資材が落ち、信号柱にへこみが生じた。	・機械の整備点検不足。
15	9月28日	NTTケーブル 切断	トラックから荷卸した路盤材を整えていたバックホウが、架空横断してるNTTケーブルに接触し、切断させた。	・現場状況説明の徹底。 ・運転者にとって架空線が目立つ措置が必要。
16	10月29日	作業員 腰椎圧迫骨折 入院中	消波ブロック製作工において脱枠作業中、型枠転倒防止の為に最上段コッターピンだけを残し他の止具を外した後、型枠周囲に散乱していた止具をバケツに回収作業していたところ型枠転倒防止のために、残っていたコッターピンがゆるみ型枠側面が緩やかに被災者の背中に倒れてきて負傷した。	・油断、危険軽視。 ・固定金具不足。転倒防止措置不足。